

事務局：(財)奈良県緑化推進協会内

〒630-8301 奈良市高畑町 1116-6

TEL 0742-24-0200 FAX 0742-24-2110

メールアドレス: gvnc@nifty.com

ホームページ: <http://homepage2.nifty.com/gvnc>

****特定非営利活動法人(NPO)“森づくり奈良クラブ”創設。一昨年の総会において設立の総意を得て、昨年セブン・イレブンみどりの基金「NPO 法人格取得助成」の支援も取付け、発起人を中心に準備を進めた結果、この2月に県の認可を受け、法務局にて2月19日に登記を完了。9月末までは準備期間として、10月からの本格的スタートに向けての環境が整いました。今後の活動の一層の拡がり期待されます。****

● 主な活動の記録 (1月～3月)

1月9日(土) 定例活動 ”山の新年会” 矢田山遊びの森

本年最初の定例活動、お互いに新年の挨拶を交わしながら30数名が参集。代表の今年も盛りだくさんの各種活動が予定されたおり、会員各位の一層の積極的な参加と、活動に際しては更なる安全への留意をとの挨拶で始まり、午前中は全員で「天平の森」の下拵え作業を行った。

昼には温かい甘酒で体を温めて、午後は間伐材の皮むき、公園清掃、道具の手入れ等分かれての作業を終えて、ホクホクの焼きイモを味わって解散。

気分も新たに



下拵え



皮むき



目立て



1月16日(土) 搬出研修(林研助成事業)

間伐研修を数度実施した、日笠城森氏のヒノキ林で、造・集材、搬出研修を実施。林道に入って暫くして、カーブで坂となっている路面が結構厚い氷で覆われたため車は立ち往生。氷砕きに奮闘しているところへ、山仕事に入ってきた山主さんが融氷剤を撒いていただいたこともありようやく無事通過し現場へ。北部農林振興事務所村上氏の指導の下、ひっぱりだこを据付け、造・集材した3m前後の材は製材用に、また先端部分の細目の材は杭用と、そこそこの本数を引張り上げた、林道脇に仮置き研修を終了。製材所へは日をあらためて運び出すこととした。

氷に阻まれ



ひっぱりだこ据付け



集材



引張り上げ



1月24日(日) 特定事業 「緑の募金」公募事業

国民参加の間伐と、間伐材の有効利用を促進するための事業。一般参加を含む20名弱が参加。まず、阪原町35年生ヒノキ林で、講師の県農林部OB孝井氏から、木材の利用あれこれ、奈良県林業の現状、間伐の意義・必要性等の説明を受けてから、4班に分かれ北部農林振興事務所村上氏、林業家樺氏らの指導を受けながら間伐を実施。樹高が20m近くの大きなものだけに、どうしても架かり木となるのを避けられず、ロープや木回しを使いながら力を合わせ安全に伐倒していった。午後ひっぱりだこを使っての材の引出しを体験後、場所を日笠に移して、同じ事業で別途実施中の雑木林から予め切り出しておいたホダギへのシイタケ植菌を、山主さんの庭先を借りて実施後、各自2本ずつ持帰った。

1月31日(日) 奈良高校除伐・枝払い

同校内に散在するヒマラヤスギ、松、ケヤキ等の高木の除伐並びに枝払いの要請を受け、この日から4回に分けて作業を実施。校舎際、フェンスに枝が絡んだものが多く、ロープを掛け、チルホールで曳きながら慎重に伐倒を進めていった。休日の作業ながら、部活の生徒達が行き来することもあり細心の注意を払いながらの作業。バックネット裏の夜間照明を遮るケヤキの枝払いでは、一本ハシゴをたよりによじ登って枝を切り落としていった。

2月13日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

新入会の女子一名を含め40名弱が参加。

来月第二・第四土曜日に植樹祭が予定されている「天平の森」と「万葉の森」の二手に分かれ地拵えの仕上げを急ぐべく、刈取った草木の巻き落しや、排水の為の溝切り等を午前中一杯行った。現場は放置田跡地にて、ところどころぬかるみに足を取られながらの作業となった。

午後は間伐材の利用促進の一環として、予め製材しておいた板を切断、電気カンナがけ、穴開けをして植樹祭に使う樹名板づくりや、竹串・竹支柱づくりをした。又過日奈良高校中庭から切り出し搬入しておいた大きなヒマラヤスギの幹を薪割り機を使って炭窯用薪づくりを同時に行った。この日予定していた草木染めは一般からの参加申込みがなく延期し、上記作業に集中した。

地拵え作業風景



樹名板づくり



薪 割 り



2月25日(木) 県立筒井寮 クラフト指導

小学生以下の寮生を対象に、各学期に一度毎回種類を変えて行っている自然の恵みを利用したクラフト指導。10名ほどが参加し、当クラブ員5名が指導に当たった。今回は木々の葉っぱを貼り合わせ、小枝を付け足にみたてての昆虫や小動物(木の葉のペーパーアート)を次ぎ次ぎと作り上げていき、自分達の部屋に飾れるようガムテープで竹串に貼り付け、竹筒に差込んだ。いつものことながら子ども達の感性豊かな作品と満足そうな笑顔に心が癒される午後の一時であった。新学期の再会を約束してわかれた。

製作風景



作品一例



作品を手に手に



2月27日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中は間近かに迫った「天平の森」と「万葉の森」植林祭のための地拵えの仕上げ作業を、午後からは植栽に使用するための竹串・竹支柱・樹名板作る一方、特定事業で日笠の民有雑木林から予め伐り出しておいたホダ木にシイタケの菌打ちや、炭焼用薪づくりを行った。

3月13日(土) 「天平の森」植林祭 一緑の募金公募事業一

平城遷都1300年記念の一環として、天平の時代に奈良の森をかたちづくっていた樹々を植樹し、この時代に思いを馳せながら散策のできる森づくりを目指し、奈良県森林ボランティア連絡協議会主催、(社)平城遷都1300年記念事業協会・(財)奈良県緑化推進協会の後援で、矢田山遊びの森で開催され、サテースクールの子ども達、先生・保護者を含む90名をはじめ、奈良リコー、いこま里山クラブとグリーンボランティアならクラブ会員等150名近くが参加。

開会式では、主催側の石野会長よりの趣旨説明に続き、来賓の(財)奈良県緑化推進協会井上事務局長の挨拶、作業を指導頂く達っちゃんクラブ辻谷代表、森林インストラクター南氏の紹介、オリエンテーション、記念撮影の後、30分ばかりかけて植栽地へ移動。3班に分かれ、各リーダーより植栽の手順説明を受け、早速数名づつのグループに分かれ作業にかかった。現場は放置棚田跡地だけにところどこのぬかるみに足を取られながら、多くのサの株を取除きながら次々と植えていった。樹種は、イカガシ、クマガイ、マテバシ、モチノキ、ヤマモモ、イヌマキ、ウメトドモ、ヤブミ、ネヤナギ、エノキ、ヤマザクラ、ハシロウギ計12種、142本。しっかり足で踏み固め、高木は竹の支柱で支え、樹名板をつけ、標柱に皆の名前を書き入れ、その前で記念写真を取り午前の作業は終了。

午後は、子ども達は餅つきとクラフト(木の実の殻を使っての小動物づくり)を班別に代わる代わる体験、大人達は分かれて清掃活動を兼ねた自然観察と植栽木の点検、テープ付け等を行ったあとは、搦き立てのもちが入った甘いぜんざいを頂き解散。

開会式



植栽地へ



植栽作業風景



僕が大きく育てるよ



3月27日(土) 「万葉の森」づくり植林祭 一緑の募金公募事業一

平城遷都1300年記念事業協会・(財)奈良県緑化推進協会後援で、矢田山遊びの森で開催。平城遷都1300年記念に合わせ、奈良時代に編纂された「万葉集」に詠まれた樹木を植樹して「万葉の森」づくりを手がけて、3回目となる本年は仕上げの年。今回も全国のローソン各店舗を通じ多くの方

からいただいた寄付金を「緑の募金交付金」として助成を受けての実施。花冷えの朝 70 名弱が子ども交流館前に参集。

開会式で（財）奈良県緑化推進協会の黒子氏、（株）ローソンを代表して尾崎氏よりの祝辞をいただいでから、道具を持って約 700 メートル先の植栽地へ移動。（株）ローソン代表者によるヤマザクラの記念植樹後、4 班に分かれ、ヤマザクラ・イロハモミジ・カツラ始め計 20 種 170 本近くを手際よく植えていき、支柱を打ち込み、樹名板・目印となるテープを結び付け、最後に参加者の名前を記した標柱を立て午前の作業を終了。

料理体験館で温かい豚汁を味わいながらの昼食をすませてからは、1) 万葉樹木観察会、2) 木簡づくり、3) 竹炭焼き、4) 植栽木の点検、とに適宜分かれ活動。

万葉樹木観察会は、植栽地近辺にある万葉集に詠まれた木々に、予め和歌と樹種の説明を記したカードがつけられており、その解説を指導者から聞きながらの散策。

木簡づくりは、間伐材を利用して作った木簡（木片）に万葉集からの一句や詠まれた樹木名を万葉仮名を使って、電気ゴテ・ドリルや墨で書きこんで形を整えた。

竹炭焼きは、予めドラム缶を使って焼き上げておいた竹炭の窯出しと、次回の準備としての竹材の窯詰めを行った。参加各位が今後の当クラブの活動に随時参加されることを願って解散。

記念植樹



植栽作業風景



木簡づくり



「緑の募金」街頭活動に参加を！！

みどりの日をはさんでの一ヶ月はみどりの月間にて、恒例の街頭募金活動が各地で行われます。4月29日（木）は午前9：00から橿原アルルイオンモール前で（財）奈良県緑化推進協会による苗木の配布をしながらの募金の呼び掛けを行います。多くの参加をお願いします。

＝携帯電話でもホームページを＝

インターネットでホームページを公開していますが、携帯電話でも閲覧出来ます。検索画面でグリーンボランティアならクラブと入れOKし、ホームページの項を再びOKすると、活動予定・主な活動の記録等が表れます。携帯用に再編され多少見辛いですがご利用下さい。

＝訃報＝

カメラとマラソン、そして酒と風呂が大好きだった長崎絃八郎さんが、1月27日未明急逝されました。念願の2月に開催された東京マラソンの出場権が得られた矢先だけに、悔まれます。ご冥福をお祈りいたします。